社協まいばら

てとて tetote

2025
9
No.86

特集
地域共生社会の実現に向けて
～共に働く現場から考える～ （P.2）

P.4 昨年度の社協の取り組み報告
令和６年度事業・決算報告

P.6 じぶんの町を良くするしくみ
共同募金運動が始まります！

P.8 こんにちは、権利擁護センターです
自分のくらしは自分で決める

P.11 活動のサポートと橋わたしをします
ボランティア情報「まいボラ」

※写真は、夫馬サロンで子どもと一緒にお手玉づくりをする様子です。

特　集

地域共生社会の実現に向けて

～共に働く現場から考える～

地域共生社会の実現に向けて、全国各地で様々な取組みが進められています。地域共生社会は年齢や性別、障がいの有無などに関わらず、全ての人が役割を持って、支え・支えられ、多様な主体の参画を得ながら分野を超えてつながることで、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共につくっていく社会です。

今回の特集では、今年7月に米原市と「地域創生に関する包括連携協定」を締結され、また多くの障がいのある方が活躍されている、アイリスオーヤマへの障がい者雇用の取材を通じて、地域共生社会について考えていきます。

商品の積み込みをするSP社員

※1「アイリスオーヤマ　SP事業部」は障がいのある従業員を指導・支援しながら業務を行う部署。障がいのある従業員が、パソコンでのデータ入力、商品のギフト包装など、シンプルな定型的作業を中心として、食品工場での機械の洗浄や、新しいパソコンのセットアップ、部品の取付け作業、物流の出荷応援など、アイリスオーヤマの企業活動にとって欠かせない役割を担っている。

今回の取材では、アイリスオーヤマＳＰ事業部(※1)リーダーの千葉さん、工場長の岩永さん、障がいのある従業員の方などからお話をお聞きしました。

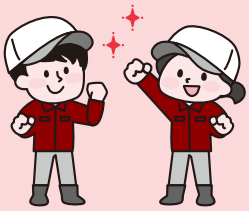
○一緒に働くようになって

「障がいのあるなしに関わらず、アイリスオーヤマの社員として戦力になるような仕事をしてもらいましょう。」大山会長の言葉から障がい者雇用が始まりました。

当初は「一緒に働くのは難しいのでは」と考えたことがありましたが、一緒に働くにつれ、「障がい」を見るのではなく、その人の「特性」を捉え、接するように変化してきました。

本人の特性を捉えることで、本来持っている力が発揮できる仕事を調整し、実践しています。得意なことが仕事になっているため、集中して丁寧に作業をする姿を見て純粋に「スゴイ」と思います。「スゴイ」と思ったのは私だけでなく、他の部署の従業員にもその働きぶりを聞くと、そろって「まじめで、丁寧な仕事をしてくれる。逆に教わることもたくさんある。」と話します。

そうした働く姿を見て、ＳＰ事業部には「こんな仕事を頼めないか」といった相談が増えました。一緒に働くことで特性を見て対応してくれる人が増えてきたと思います。



○障がいのある従業員の方の声

「働いていたら、暑い中お疲れさんと声をかけられて嬉しかった。」

「みんなが声をかけてくれる。それが嬉しい。」との声を聞いています。

SP 事業部についての
詳細はこちら

今回取材に協力いただいた皆様

除草作業をするSP社員

※2　SP社員の
体調表現マグネット

今回の特集が、私たち一人ひとりが考えるきっかけになれば幸いです。

○職場としてフォローしていること

障がいのある従業員の体調変化でうまくいかない時には、個別面談で振り返りを行います。改善策を一緒に考えることでお互い信頼関係を築きやすく、働きやすい環境ができています。自身の体調をうまく言葉にできない時もあるので、今の状態がわかるマーク※2を作り言葉にしなくてもいいようにしています。

以前は各工場でそれぞれ、その場その場の対応していました。ＳＰ事業部が各地の工場に設置されたことで、各工場で上手くいった対応や工夫、障がいのある従業員が担当しやすい業務などについての情報共有が進みました。先ほど紹介したマークもこうした取り組みの一環です。

これまで（各工場独自）「点」でしていた支援が（各工場間で）「線」につながり、それぞれが持っている能力を引き出せるようになりました。ＳＰ事業部従業員の活躍は、アイリスオーヤマの業務の効率化やコストカットへとつながり、組織としても大きなメリットにもなっています。

障がいのある従業員に対して、障がい者ではなく、一人の社員として接しています。みんなが同じ会社の仲間だと思っています。

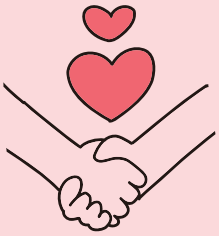
○まとめ

今回の取材では、障がいのあるなしに関わらず一緒に働くことで生じた企業内の変化をお聞きしました。

障がい者雇用を一つの大切な戦力として捉え、従業員一人ひとりがもつ力を最大限に発揮できるように取り組んだ結果、障がいのある方の力を他の従業員が認め、障がいのある従業員もまた、企業に勤めるひとりとして、力を発揮されている姿を見ることができました。

障がいのあるなしを含め、人には一人ひとり異なる個性があります。今回は「働く現場（企業）」という環境の中で、互いの違いを認め合い、一つの目的に向かう話でしたが、私たちが生活する環境や様々な場面においても同様であり、大切なお話をお聞きできたと感じています。

周囲の人々への関心と理解しようという姿勢を持ち、出来る範囲で交流を持つなど、私たち一人ひとりが踏み出すその一歩が、地域共生社会実現への大きな一歩となるのではないでしょうか。



令和６年度 事業報告

社会情勢の変化のなかで、個々人が抱える多様で複合的な課題、生活上のニーズへの対応が求められています。

令和６年度においても、各種の事業を通じてさまざまな相談を受け付け、見守りネットワーク会議の開催を呼び掛けるなど、困りごとを抱えつつも支援につながっていない方への働きかけを継続して行い、特に、複合化・複雑化した課題に対しては、多機関協働事業等により、ケースの実態に応じて相談機関が連携する支援体制や包括化のネットワークを構築しながら必要な支援につなげました。

地域において「支え合い」の意識が醸成され、災害発生時の支援体制の充実など地域課題への対応が図られるよう働きかけるなど、課題に対応した地域づくりに向けて活動および活動者支援を行いました。さらに地域活動の支援や事業を運営するなかで居場所づくりを進め、社会的孤立や経済的困窮等の課題を抱える方に、その場や機会を活用しながら社会参加や就労支援に向けた取組を実施しました。

見守りネットワーク会議の様子

認知症や障がいにより一人で決めることに不安や心配のある方に対し、地域福祉権利擁護事業による相談や生活支援を実施し、地域で安心してその人らしい暮らしができるよう支援しました。併せて成年後見制度利用促進の中核機関として、成年後見制度等の利用にかかる相談に対応するとともに、適切な後見人等の選任に向けた仕組みづくりなどに取り組みました。

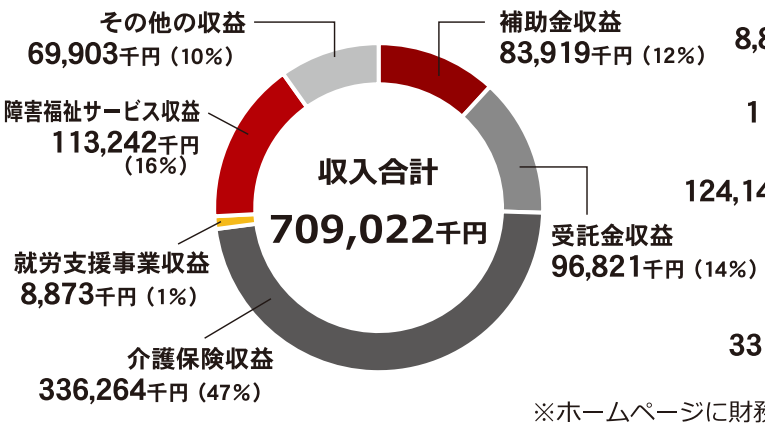
介護（ヘルプ）事業の様子

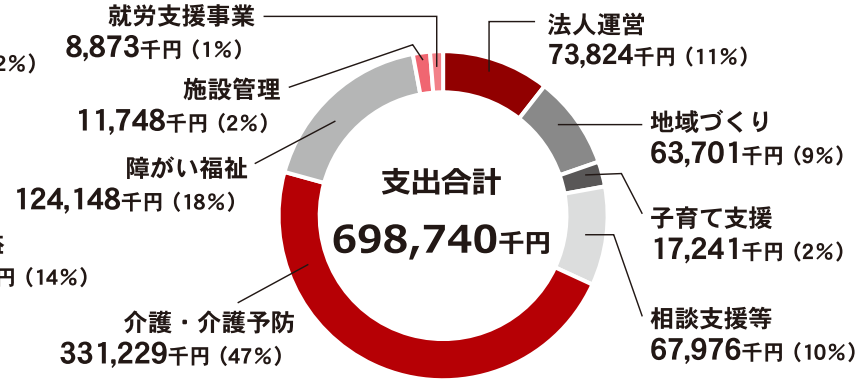
介護職員等の確保が大変厳しいなか、提供体制の改善を図りながら市内の支援ニーズに積極的に応えました。虐待防止や身体拘束の適正化、感染症対策等にかかる業務管理体制を強化し、利用者が安心して利用できる環境を整え、専門的でより質の高いサービス提供に努めました。

業務に携わる職員の処遇に関しては、依然として他業界・他業種との賃金格差の状況があり、全国的にも福祉・介護職の賃金改善に向けた動きがあるなかで、本会においても、職員の働きがいややりがいを形成できる環境の整備をめざして、職員処遇の改善を柱に補助・委託事業の人件費に係る予算要望を行い一定の成果を得ることができました。

また、包括的な支援体制の実践にあたり法人内連携を高めるため、事業推進プロジェクトや事例検討会を実施し、地域生活課題に対応する事業の検討のほか、地域共生社会の実現に向けた包括的視点の醸成に取り組みました。

令和６年度 決算報告





※ホームページに財務諸表・事業報告書を掲載していますので、併せてご覧ください。

米原市社会福祉協議会役員・評議員のご紹介

去る令和７年６月19日の定時評議員会をもって、前評議員および役員（理事・監事）の任期が満了しました。同日、次の任期に就任いただく評議員および役員について委嘱を行い、新たな体制がスタートしました。

新たに就任された評議員および役員の方々をご紹介します。

【役員】任期：令和７年６月 19 日から令和９年６月開催の定時評議員会終結の時まで　（敬称略）

役職名	氏　名	役職名	氏　名
会　長	日　比　繁　樹	監　事	中　谷　利　治
副　会　長	伊　藤　信　義	監　事	松　宮　誠　也
理　事	吉　田　正　子		
理　事	河　居　郁　夫		
理　事	髙　橋　芳　信		
理　事	永　田　かおり		
理　事	田　附　　希		
理　事	吉　田　兼　次		

【評議員】任期：令和７年６月 19 日から令和 11 年６月開催の定時評議員会終結の時まで（敬称略）

氏　名	所属団体等	氏　名	所属団体等
長谷川　綱　雄	米原市障害者福祉協会	杉　山　善　樹	山東地域自治会連絡協議会
川　嵜　愛　子	米原地区更生保護女性会	堀　江　　治	伊吹地域自治会連絡協議会
吉　川　高　弘	米原市子ども会育成連合会	山　田　克　己	米原地域自治会連絡協議会
谷　田　昌　子	米原市母子福祉のぞみ会	北　川　博　和	近江地域自治会連絡協議会
大　橋　　潔	米原市山東民生委員児童委員協議会	阿　部　　弘	米原市立伊吹小学校
福　永　浩　一	米原市伊吹民生委員児童委員協議会	澤　田　隆　文	米原市立双葉中学校
清　水　則　男	米原市米原民生委員児童委員協議会	松　永　邦　子	米原市健康推進員会
長谷川　澄　夫	米原市近江民生委員児童委員協議会	田　中　祐　行	米原市シルバー人材センター
北　川　喜代司	米原市老人クラブ連合会	竹　中　礼　子	社会福祉法人柏葉会　柏原こども園
大　野　眞美子	米原市地区赤十字奉仕団	今　井　寛　明	社会福祉法人湖北会　ワークスさかた
松　居　雅　文	地域の活動者	杉　本　眞　二	社会福祉法人青祥会　坂田青成苑
山　田　輝　子	不登校親の会　relief ～リリーフ～	清　水　和　人	米原市商工会
前　田　義　信	地域の活動者	宮　野　　肇	米原市くらし支援部
北　居　丈　範	NPO 法人 Take-Liaison	仲　谷　良　徳	地域包括ケアセンターいぶき
中　川　哲　夫	米原市ボランティア連絡協議会		

募金運動期間　10月1日～12月31日

伊吹山中学校
ジュニア民生委員　児童委員の皆さん

共同募金運動が始まります！

今年も市内のさまざまなところで共同募金の協力を呼びかけます。
みなさまの温かいご支援ご協力をお願いいたします。

こちらの2次元コードからも募金ができます

募金のつかいみち

共同募金は身近なところで活かされています

自治会による要支援者参加の避難訓練

自治会による居場所づくり

自治会や団体による新規事業への支援
『まいばら森の舞台音楽祭』

福祉活動団体や
ボランティア活動の支援

子育てサークルづくり
『こもち～ズ広場』鱒つかみ

書き損じハガキ・未投函ハガキが募金になります！

※回収BOXは社協窓口に常時設置しております。
ご協力お願いいたします！！

米原市共同募金委員会（米原市社会福祉協議会内）

善意銀行だより

心あたたまるご寄付をありがとうございます（令和7年5月8日～令和7年7月25日）

善意銀行とは…市民の皆さまから寄せられた善意の金銭や物品を、市内の福祉団体や福祉事業所等が行う地域福祉活動に役立てるようにする仕組みです。

（敬称略）

預託	金銭	預託者名	金　額	
		元　山内一豊の母「法秀院」顕彰会	￥184,429	
		米原市伊吹老人クラブ連合会	￥15,297	
	物品	預託者名	品　名	
		ヤマハタ養鶏	卵（初卵）	
		JP 労働組合　びわこ北支部	白米	
		おおはら農園　どろんこばたけ	玉ねぎ、いちご	
		中村　茂喜	レトルト食品・缶詰他	
		本願寺派長浜別院	白米	
		木寺　真史	ジャガイモ	
		匿名（3 件）	折り紙作品、玄米、オムツ	
払出	物品	払い出し先	品　名	件数
		福祉事業所、ボランティア団体	介護用品・衣類・日用品	9 件
		子ども食堂、福祉事業所	食品	9 件
		フードバンク事業	緊急食料品	1 件

その他にも皆さまからいただきましたご寄付は、生活にお困りの方や子ども食堂、地域のサロンのほか、市内の福祉事業所にお渡しし、様々な活動に活用しています。

相　　談

・常時相談

社協職員が相談員として対応し、各関係機関と連絡連携して継続的に相談支援を行います。

毎週月～金曜日､午前８時30分から午後５時30分まで。※祝日･年末年始を除く。

〈問合せ〉米原市社会福祉協議会　☎：５４－３１０５

・心配ごと総合相談

暮らしの困りごとや悩みごとの相談を受け付けます。

相談は無料。時間はいずれも10時～正午まで（相談受付は11時まで）で、相談時間は１時間程度。

相談員は、行政相談委員・人権擁護委員・民生委員児童委員

〈問合せ〉米原市　社会福祉課　☎：５３－５１２１

相談日	会　場	相談日	会　場
9月 9日（火）	市民交流プラザ（長岡1050番地1）	10月14日（火）	米原市役所相談室本庁舎（米原1016）
9月30日（火）	米原学びあいステーション（下多良3丁目3）	10月28日（火）	伊吹薬草の里文化センター（春照37）

・法律相談

法律に関する相談ごとで、解決の窓口となるよう弁護士が初回の相談に応じます。事前にお申込みください。

相談日	会　場	相談日	会　場
9月11日（木）	米原市役所3-E会議室（米原1016）	10月 9日（木）	米原市役所相談室2-3本庁舎（米原1016）

１回30分以内　料金　1,000円。時間は9時30分～11時45分までの間。

〈問合せ･申込み〉米原市　社会福祉課　☎：５３－５１２１

こんにちは、米原市権利擁護センターです

「自分のくらしは自分で決める」

～任意後見制度について～

将来、自分の思いを伝えられなくなったらどうしよう…

そのような場合に備えるための制度のひとつに『**任意後見制度**』があります！

任意後見制度とは

認知症や障がい等により将来ひとりで決めることが難しくなった時に備えて、自分が信頼できる人に、自分に代わってしてもらいたいことをあらかじめ決めておく制度です。

たとえば…

- **○ どのような生活を送りたいか**
- **○ 医療・介護サービスはどのようなものを利用したいのか**
- **○ 資産の保存・処分、預貯金管理や日常の支払いをどうしていくか　など…**

自分の思いを自分が任せたい人（任意後見受任者）に伝え、相談しながら、あらかじめ契約を結んでおきます。この契約を『**任意後見契約**』といいます。

【 任意後見制度の流れ 】

将来に不安があり、信頼できる人に任せたい ＞ 任意後見契約締結（公正証書） ＞ 認知症等によりひとりで決めることが難しい状態 ＞ 任意後見監督人選任の申し立て･選任 ＞ 任意後見契約の効力発生

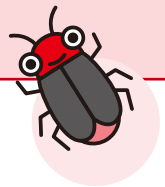
「手続き等について詳しく話を聞きたい」などお気軽にお問い合わせください！

◆相談・お問い合わせ先◆

米原市権利擁護センター（社会福祉法人米原市社会福祉協議会）
米原地域福祉センターゆめホール１Ｆ
〒５２１－００２３　米原市三吉５７０番地
☎　：０７４９－５４－３２０５
FAX：０７４９－５４－３１１５
✉　：soudan@maibara-shakyo.or.jp
LINEでの相談も受け付けています。

登録はこちらの読み取りをお願いします

障がい者相談支援センター　ほたる　より…



　ほたるでは、障がい福祉サービス利用の相談（計画相談）や、日常生活についての相談（一般相談）を通じて、障がいがあってもその人らしく生活できるようお手伝いをしています。
　障がいのあるご本人やご家族の中で感じている困りごとに関しての相談をお受けしています。「どこに相談にいけばよいのだろう」「相談したいことがあるけど、話せる人がいない」という方は、お問い合わせください。

相談は無料です
相談内容の秘密は守ります

いろいろな経験をしたい…
外へ出かけたい…
地域の方々と一緒に活動したい…　　そのような方々へ

米原市にお住まいの障がいのある方が対象です

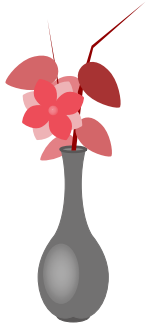
ボランティアの方と一緒に活動し、
地域の方々とつながり、ともに楽しい時間をすごしてみませんか？

第１回　　令和７年９月１０日（水）１３：３０～１５：００
　内容：書道を体験し、自分の作品をつくろう！（定員：１０名）

第２回　　令和７年１０月８日（水）１３：３０～１５：００
　内容：チェアヨガをやってみよう！（定員：１０名）

第３回　　令和７年１１月１２日（水）１３：３０～１５：００
　内容：簡単な花入れで、お花を飾りましょう！（定員：１０名）

第４回　　令和７年１２月３日（水）１４：００～１５：３０
　内容：みんなでダンスをしよう！（定員：１０名）
　　※開始時間がちがいますので、ご注意ください。



会場　　▶米原地域福祉センターゆめホール（米原市三吉570）
参加費　▶第1回、第3回は、材料費100円が要ります。
お申込み▶障がい者相談支援センターほたるまで、ご連絡ください。
　締め切りはありませんが、定員になり次第受付を終了させていただきます。
　シリーズではありませんので、１回だけのご参加ができます。

お申込み、お問い合わせ、ご相談は・・・障がい者相談支援センター　ほたる　まで

☎　０７４９－５４－３２０１
FAX　０７４９－５４－３１１５
✉　soudan@maibara-shakyo.or.jp

＝相談日＝
月曜日から金曜日
午前8時30分から午後5時30分
※土日、祝日は休みです

ふだんのくらしのしあわせにまつわる川柳　ふくし川柳

作品紹介

傘の花　咲く登校の　児童列
明日亦元気

畦道で　振る手に応(こた)う　下校の児(こ)
FUJIKUN

川柳(せんりゅう)　詠(よ)みて身のタメ　人(ひと)のため
多喜

アレやソレ　普通に分かる　古希夫婦
ハマカゼ

「ありがとう」　小さき声に　花が咲く
フウリン

ふくしとは　心のバリア　なくすこと
ぺぬ

※敬称略

たくさんのご応募ありがとうございました。作品の一部をご紹介します。
次回以降も、引き続き、作品を募集していきます。

ふくし川柳作品を募集しています

たくさんのご応募おまちしています

地域福祉活動やボランティア活動をされている方、各福祉分野（高齢・障がい・児童）の事業に従事する方や当事者の方、ご家族の他、ご近所の方など、福祉の目線で感じたことを５・７・５の『川柳』で表現してください。

お　題　ふだんのくらしのしあわせにまつわる川柳　※福祉にまつわることすべて

掲載号と募集期間
・11月号掲載作品・・・９月末日まで
・２月号掲載作品・・・11月末日まで

応募方法
・はがきや任意用紙に必要事項【作品・ペンネーム・氏名・連絡先】を記入し、協働推進課宛として、社協各窓口へお届けください。
※ペンネームがない場合は氏名を掲載させていただきます。
・メールでの応募先　　maibara@maibara-shakyo.or.jp

※すべての作品が掲載されるわけではありません。
応募多数の場合、掲載号を変えて掲載させていただくことがあります。

インフォメーション

【お詫びと訂正】滋賀県レイカディア大学 第47期生募集に関するお知らせ

広報誌てとて6月号にて掲載いたしました、滋賀県レイカディア大学 第47期生募集に関する案内において、誤った記載がありました。お詫び申し上げますとともに、下記の通り訂正させていただきます。

【誤】 滋賀県レイカディア大学 第46期生募集
【正】 滋賀県レイカディア大学 第47期生募集

米原市のボランティア情報をお伝えします♪

みんなでつくる高溝子ども食堂

住民さんから「高溝で世代間交流ができる子ども食堂をやりたい！誰か手伝ってくれる人はいないかな？社協からも声をかけて欲しい。」とのご相談をいただきました。高溝に在住の市内でボランティア活動をされている方にお声がけしたところ、「話はサロンで聞いた。お手伝いできることがあればと思っていた。生協仲間なら一緒に手伝ってくれる人がいるかもしれない。」とのお返事があり、翌週、生協の受取時間に合わせ相談に行ったところ、協力いただけることになり、その他にも子ども食堂の開催を耳にした地域の方から「手伝えるよ！」という連絡があったそうです。

７月１８日、参加者約１７名、ボランティアさん１１名で、第１回高溝子ども食堂が賑やかに開催されました。

ボランティアさんにお尋ねしてみました。

Q 子ども食堂の支援をしようと思ったきっかけは？

A 若い方が頑張っている姿を見て、応援したいと思ったから。

A 自分たちでできることがあれば、と思った。

Q 参加してみていかがでしたか？

〈ボランティアさん〉

A 若い人たちの企画に協力できてよかった。

A お母さん同士の交流の場にもなって良かった。

A 体の続く限り協力したい。

A 改めて若い人の力って素晴らしい！と思いました。

〈こども〉

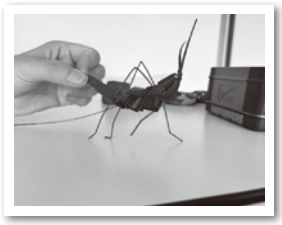
A 大勢で、家とは違う雰囲気の中で食べると、楽しいし美味しい。

A いろんなボランティアさんに作ってもらえたことが嬉しい。

←生協の配達待ち。待っている間のおしゃべりタイムも皆さん楽しみにされています♪

↑相談者の祖母が高溝に住んでおられたため、協力してくださる方もすぐに見つかりました！

ハンバーグ
↓作りの様子



↑シュロの葉でバッタ作り

当日のメニュー
- ちらし寿司　・おくらのおひたし
- 鶏肉ハンバーグ（豆腐入り）
- ひじきとほうれん草のサラダ
- カボチャの煮物　・すもも

←ちらし寿司
作りの様子

参加されたお子さんたちも、関わってくださったボランティアさんたちにとっても、素敵な時間となったようです。「今後も、学校の給食が無い日に開催できると良いな」とおっしゃられていました。

地域の方の「得意」「趣味」「好き」を活かして、子どもたちが安心して過ごせる、ほっと一息つける居場所がまたひとつできました♪

このページに関する問合わせ先

米原市ボランティアセンター

☎ 0749-54-3100　もしくは、こちらのLINEからお問い合わせください。

米原市のみなさんに役立つ
子育て情報をご紹介

おおきくな～れ

子育てサークルづくり「こもち～ズ広場」を実施しました！

６月２０日より、５回シリーズで開催した、令和７年度の子育てサークルづくりが無事に終了しました。今年のテーマは**“つながり”**

５回のイベントを通じ、参加者同士が仲を深めることはもちろん、地域のボランティアさんともつながってもらうことができました！
ボランティアさんからは「とにかく子どもたちが可愛い♡」「子どもと関わることで自分たちも元気になる。」「子育てや孫育てをしていた頃を思い出す。自分にできることがまだあったことが嬉しい！」「お母さんたちの頑張っている姿が見られて良かった。」というお声をいただきました。

お母さんたちからは「外に出るのも大変だけれど、参加したことによって、いろんな方と知り合えたことが嬉しい。」「何をしてもほめてもらえることが嬉しい！『こんなことで褒めてもらえるの？』ということでも褒めてもらえ、私の自己肯定感もあがった。」などと喜んでいただけました。

ボランティアさんが、日々子育てに奮闘しておられる保護者さんを温かい眼差しで見守り、声をかけ、子どもを可愛がっていただいたことで、お母さんたちも癒され、米原市で子育てできることを喜んでおられました。

一緒に子育てできる仲間がいると心強いですよね！
地域の皆さまのおかげで、今年も子育てサークルを１組結成することができました☺
今後もゆる～くなが～く、仲を深めていただけると嬉しいです。

子育てサークルづくりは終わりましたが、年度途中でサークルに加入いただくことも可能です。「子育てサークルについて教えて欲しい！」「サークルに入りたいな♪」という方は米原市ボランティアセンターまでご連絡ください♪

たなばた女男座さんと一緒にふれあい遊び♪

米原市健康推進員さんと一緒に親子でクッキング。

お母さんのために、POLAさんが素敵な時間（癒しのハンドエステ）を提供くださいました。

夫馬サロンの皆さまとの交流。

最終回。みんなで流しそうめんとBBQをしました！楽しかったね♪

てとて | 86号 | 9月号 2025年

てんてんのイラストは、地域のボランティアさんに描いていただいたイラストです。

［発行］社会福祉法人米原市社会福祉協議会 協働推進課
〒521-0023　滋賀県米原市三吉570番地
☎0749-54-3100　FAX 0749-54-3115
✉maibara@maibara-shakyo.or.jp
公式ホームページ：http://maibara-shakyo.or.jp/

文字が読みにくい等でお困りの方に、毎号「音の広報」としてCDに録音した「広報てとて」をお届けします。ご利用希望の方はお気軽にお問い合わせください。（「音の広報」は米原市内の音訳ボランティアの方が読み上げ･録音･編集されたものです。）

この広報は一部赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

■社協公式HP・SNSは２次元コードからご覧ください

ホームページ　インスタグラム